

# 会員のみなさんへ

題字：倉林 順一

◇私もホープガーデンの

見学会に参加した。倉庫で眠っている本が役立つのならと思って軽トラックに約200冊の本を持っていった。建設会社だった建物と敷地がホープガーデンに変わった。いや誰かが変えた。社会が変わり、人々の人間関係も変わっていくと、自分と他者がともに生きられる社会をつくろうとして、建物や土地の使い方を考えていく人たちがいる。

その視点に気づき、少しの希望を覗た。

(伊勢崎市・船橋聖一)

◇「育ちと学び」は内容が幅広く多岐にわたってよい勉強になります。十二年前当時高校生だった松村さんの作文には感動しました。

(高崎市・大塚栄子)

◇菊地定則さんの「鳴」には思わず頭を垂れました。5月に亡くなられた筈雄二さんの声

にも聴こえました。

サイクロイド曲線に夢中になれる高校生がまぶしかったです。「中年」も負けてはいられませんね。本を出した今、次は何を頑張ろうかと思えばぐねる日々です。

富岡フィーバーについてのフォーラムらしい切り口からの取材、学んでみたいですね。

「育ちと学び」の記事をデータベース化してキーワードで検索できたらすごいですね。大変すぎる？

(高崎市・エイムズ唯子)

◇「育ちと学び」の誌上ギャラリーに接して、二年前の父宛の賀状で、菊地定則氏が記された句に、「木犀の香の中にあり生涯反戦」がありました。まさしく、反戦を賞かれた一生だったと思います。これからは木犀の香りをかぐ度に氏のことを思うでしょう。

取材、編集の目配りと、みなぎる熱意に敬意を表します。私立高非常勤を退職し、現在、近くの中学の手伝い中です。但し、年間十二〜十三回のペースなので効果の程は???です。

(高崎市・金井秀行)

7月の近現代史ゼミの感想文から

私が日々のニュースの中で一番理解できないのが中東（特にイスラエルを中心とした）の現状です。毎日、たくさん犠牲者が出ているのに、歴史も国の成り立ちも、あらしい原因も理解していない自分です。学ぶ力、読み取る力がないのです。いつか機会がありましたらわかりやすくお話していただけたらと思っています。

(伊勢崎市・定方佐知子)



(榛東村・加納順子「煌」による)